

第2回 彦根市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会

日 時：令和3年(2021年)8月27日(金) 10:00～12:00

場 所：彦根勤労福祉会館 3階 中ホール

○企画課長

大変お待たせいたしました。本日はお忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

ただいまから、第2回彦根市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会を開催させていただきます。

それではまず初めに、彦根市長からご挨拶を申し上げます。

○市長

第2回彦根市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会の開催に当たりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

本日から滋賀県も緊急事態宣言発出されまして、対象となりましたので、一部オンラインでの開催とさせていただきます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

皆様には公私ご多用の中、こういった形でここにお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

本日は皆様にこの総合戦略に係る令和2年度の各施策について、四つの基本目標ごとに、それぞれの専門的知見による評価、検証をお願いすることになりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

いずれの施策も市単独で実施するのではなく、産官学金労言のオール彦根で取り組むべきものであり、本日皆様からいただいたご意見を、今後の総合戦略にしっかりと反映してまいりたいと考えておりますので、率直なご意見、ご指摘を賜りますようお願い申し上げます。

どうしても新型コロナウイルス感染症流行の影響というのを受けて、目標達成できない部分もあるかと思いますが、アフターコロナに向けてしっかりと総合戦略に反映させたいと思いますので、ぜひ活発なご意見、ご議論賜りますようお願い申し上げます。開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

○企画課長

ありがとうございました。

本日の委員の方7名の方は、皆さんご出席いただいております。6名の方が対面、1名の委員がオンラインでご出席となっております。

彦根市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会の設置要綱、第6条第2項に規定す

る、定足数を満たしており、会議が成立していることをご報告申し上げます。

同要綱第 5 条第 1 項の規定に基づきまして、これ以降の進行につきましては、廣川会長様に議長として進行をお願いしたいと思います。

それでは廣川会長様、議事の進行につきまして、どうぞよろしく願いいたします。

○会長

改めまして、皆様、ご出席いただきましてありがとうございます。

本日は審議ということで皆さん活発なご審議をよろしく願いしたいと思います。

早速ですが、本日の議題 1、令和 2 年度施策の評価についてでございます。こちらにつきましては 4 つの基本目標のうち、順次、評価を行うという予定にしております。

評価の進め方といたしましては、各基本目標にかかる内部評価の結果について、市の方からご説明をお聞きした上で、皆さん各委員のご意見をお伺いしたいと思っております。なおこの場で出た意見につきましては事務局の方で取りまとめていただきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

それではまず、基本目標「1 魅力ある安定した雇用が生まれるまちづくり」ということにつきまして、市の方からご説明をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

○雇用創出部会長

施策名「(1) 企業立地や産業集積の促進等による地元での就職環境の整備」の内、KPI 名「有効求人倍率」については、令和 2 年度 KPI 結果 1.14 で未達成です。令和 2 年 8 月からは徐々には回復しつつありましたが令和 3 年 2 月から再度減少に転じたことにより、目標値を達成することができませんでした。課題解決に向けては、彦根地域雇用対策協議会で各関係機関と各事業所との連携により取り組んでまいります。

次に、KPI 名「企業立地促進助成措置件数」、累計については、令和 2 年度 KPI 結果 89 件で達成です。今後も、各種企業立地施策を推進することで、企業の設備投資の促進や企業誘致を図ります。

次に、施策名「(2) 起業や新分野への進出に対する支援による新たな雇用の創出」、KPI 名「起業者数」累計は、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、KPI 結果 107 人で達成となります。今後も各関係機関と連携して、起業できる環境等を整備していきます。

次に、施策名「(3) 地場産業の人材確保・育成および競争力強化」、KPI 名「彦根仏壇職人等後継者育成事業補助者数」については、令和 2 年度 KPI 結果 20 人で未達成です。後継者不足は深刻化しており、引続き新たに雇用する職人の人件費補助を行うほか、仏壇の魅力を高めるために、組合が取組む様々な活性化策に支援を行ってまいります。

次に、施策名「(4) 6 次産業化や農商工連携の推進による農林水産業の競争力強化」について、KPI 名「新規就農者数」累計ならびに「法人経営体数」累計については、いずれも令

令和 2 年度 KPI 結果は達成です。今後も、新規就農者の定着ならびに法人化支援を行ってまいります。

次に、施策名「(5) 人材不足の職場における人材の確保・定着への支援」の内、KPI 名「福祉の職場説明会参加者のうち就職に結びついた人数」については、令和 2 年度 KPI 結果 0 人で未達成です。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、職場説明会を開催することができなかったことによるもので、今年度は、SNS 等のデジタルツールを活用した事前の情報発信を行うとともに、説明会場での滞在時間を短縮する等の感染対策を徹底した上で開催していきます。また、福祉職場の魅力伝えるパンフレットの作成にも取り組み、引き続き人材確保に努めます。

次に、KPI 名「ひとり親家庭が就職に有利な資格等を取得する際に係る費用助成対象者数」累計については、令和 2 年度 KPI 結果 32 人で達成です。今後も、当課の就労支援とハローワークとの連携により、看護師や保育士、介護関係の資格取得者へのフォローを行い、ひとり親家庭の経済的自立と人材の確保・定着を目指します。さらに、新規就農者の定着ならびに法人化支援を行ってまいります。

次に、施策名「(6) 観光・文化・スポーツの振興による地域活性化策の強化」の内、KPI 名「観光入込客数」については、令和 2 年度 KPI 結果 1,454,600 人で未達成です。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、前年比約 46%の観光入込客数となりました。今後の先行きは不透明であります。with コロナ・after コロナ、それぞれに応じた観光振興施策や誘客施策等の研究・検討を行い、安心・安全な環境の準備と実施により、観光消費額の増加を図ってまいります。

次に、KPI 名「外国人観光客数」については、令和 2 年度 KPI 結果 16,529 人で未達成です。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、外国人観光客数については、前年比約 18%となりました。外国人観光客については、国内観光客よりも回復は遅れるものと考えていますが、来るべきインバウンド需要の回復期に向け、after コロナの外国人観光客誘致について調査研究を行ってまいります。

次に、KPI 名「歴史まちづくり取組件数」については、令和 2 年度 KPI 結果 25 件で未達成です。

今後も、継続的に歴史まちづくりに関連する事業の推進を図り、彦根市歴史的風致維持向上第 2 期計画に基づき、今後も関係課ならびに市民や関係団体等と協働して、取り組みを推進する必要があります。

最後に、KPI 名「スポーツ大会の市外参加人数」については、令和 2 年度 KPI 結果 0 人で未達成です。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、評価対象事業のすべてを中止としたため、実績値が 0 となったものです。誰もが安心してスポーツに参加できるよう、本市主催ならびに彦根市スポーツ協会加盟団体等が実施する各種大会・行事等について、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底を図るとともに、市外の住民も参加できるよう周知徹底を図るなど、地域活性化に向けた取組を推進していきます。

○会長

それでは、基本目標 1 の施策評価をして参りたいと思います。

まず事務局の方からは、総合戦略の各施策をより効率的、効果的なものにしていくという観点からご意見いただきたいということで、さらに PDCA をまわしてより良い方向に持っていきたいということでございます。

それでは、施策ごとに順にご意見をお聞きしたいと思います。

まず 1 ページ目の(1)でございます。

「企業立地や産業集積の促進等による地元での就職環境の整備」ということでこれについては KPI 名が 2 つございます。

これについて課題、そして課題解決に向けた今後実施すべき取り組みと、課題に対してどういうふうに取り組んできたかということでございます。コロナの関係でかなり未達ということもございますので、その辺をどう評価するかも含めて、各委員の皆様からご意見いただければと思います。よろしくお願いいたします。

○委員

彦根管内の有効求人倍率が 1.14 倍で、かなり目標値から見ますとかなり下回ったところですが、これ自体は 3 月現在の有効求人倍率で、やはりコロナの状況で去年の夏ぐらいから求人倍率というのは厳しい状況になっております。求人自体がコロナ前の令和元年度ですと 4,500 人ぐらい有効求人がありました、それ自体が 1,000 件程下がったこともありまして、逆に有効求職者の方が増えていることで、こういった状況になったのかなと思います。今後アフターコロナになると、求人の方も、今現在、製造業中心に人手不足というところでお聞きしておりますので、今後徐々にコロナが収束するに従って求人が増えてくれば求人倍率も上がってくるのかなと考えています。令和 2 年度につきましては、やむを得ない、やはり今後ですね、いろいろ人手不足対策などに取り組んでいくことによって有効求人倍率も上がると考えております。

○会長

ありがとうございます。

今後は少し期待できるのではないかとといった内容でした。有効求人倍率が 1 を割り込んでないということで未達ではあるのですが、この辺の感覚はいかがですか。

○委員

滋賀県全体でいきますと、6 月の状況で 0.92 倍、それでもしばらくずっと 0.8 倍台が続いていましたが徐々に回復しています。彦根管内は滋賀県内で一番求人倍率が高くてずっと 1 倍を超えている状況ですので、今後、徐々に回復していくと思います。

○会長

ありがとうございます。この施策の課題解決に向けたところの実施すべき取り組みを着実に実施していただきたいというご意見でよろしいですか。
外に何かございますか。

○委員

有効求人倍率については今ハローワークの方から説明していただきましたので、今私も理解をしていますが、今、雇用調整金で、結構企業の方々が人を抱えるという部分で非常に苦労されています。当初は経営側のみが申請ができましたけれども最終的には個人から請求できるようになってやっと落ち着いています。最終的にまだまだこれから離職者が増えるというのは求人より離職者が増えるということですので、なんらかの形でフォローしていかないと、それから求職者数が逆にどんどん増えてくると、有効求人倍率に対しての求職者が増えれば、また下がってしまいますし、逆に言えばそこにも行けない方がたくさんおられますし、逆に一ヶ所では賃金が標準までいかなないのでダブルワークで非正規の方がたくさん動いておられるところで、ダブルワークのどちらかが駄目になってきているという現状の中で、少しでも有効求人倍率は上げていかないといけないと思います。できれば、いろんな形での正規という安定した仕事に就ける状態というものを、全体で作ってあげればと思います。仕事があってそこに住んで町が開けていくという原点があって、仕事があって働けなければ意味がない。どうしても南の方に人が出ますから、そこを含めて、市全体で努力して新しいものを何かを取り入れていかなければならないという現状だと思っています。

○会長

ありがとうございます。新しい就職口をどんどん作っていかないといけないということですね。他の委員、何かご意見ございますか。

○委員

それに関わってですが少し波及してもう一つの企業立地の方ですが、これは累計となっていますので2年度単年度がどういう数字かはわかりませんが、企業立地というのは、色々幅広いと思います。企業の戦略で動くところがありますので、例えばこれが新規の企業誘致或いは用途地域への移転とかそういった内訳です。厳しい状況の中で、目標が達成されている、つまり設備投資がされていることになってきますので、相当それなりのコロナ禍とはいえ必ずしも厳しいところばかりではないと思いますので、その辺の内訳がお聞きできればと思います。そういうところが増えてくることによって当然雇用も連動してきますので、その辺ちょっとお伺いしたいと思います。

○会長

ありがとうございます。

ただいまの質問について事務局から何かございますか。

○雇用創出部会長

今の指定につきまして令和 2 年度は 3 件の指定をしております。全く少ないという訳ではなく、順調に指定の方はさせていただいております。課題としてはご存じのように市内で企業招致がなかなかないことでございますので、今後につきましては市としましては既存企業の設備投資を促すということで、何とか立地も含めた形での活性化を図っていかねばならないと考えております。

○会長

ありがとうございます。他に何かございますか

○委員

私の勉強のために教えていただきたいのですが、今、企業立地、いろんな招致・誘致いろいろあるかと思いますが、例えばこの彦根でしたらスクリーンがあってキンピールがあって、特に半導体や今一番賑やかにいろんな投資がこれから見込める企業の大工場がここにあるというところで、例えば彦根市の方でこれからさらに工業団地みたいなものを整備してもう少し半導体関連の企業を呼び込もうとかそういう何か動きの方が今ありますでしょうか。

○雇用創出部会長

今新たな工業団地作るという用地がまず市内ではなかなか見つからないということで、一部は今まで野田山辺りで企業誘致することでいくつか企業に来ていただきましたけどもそちらの方、なかなか土地の限界があるということで、あと既存の工場の用地内で工場を増築すると、今おっしゃって頂いた半導体の工場を新たに作って頂く、要するにこちらにあるところに作っていただくということで、増設をしていくという工事も奨励対象になっておりますので、そういう部分での支援というのを考えていきたいというふうに考えております。

○委員

皆様専門の方々からのコメントでわかりましたので、私からということではないですが、私も媒体の方で情報を発信する中で、企業や法人の方からの求人に関する問い合わせだとかと、実際にご覧になる読者さんからの意見等を鑑みると、マッチするための情報の発信が、

人がないところからの発信が、人が欲しい方のところに届きづらい部分はまだあるところと、やはりこのコロナ禍のところ、動くことに対するリスク等の部分があって、具体的な行動にもう一步踏み出せない市民の方というのが多いので、足りないところは常に足りないという状態があるのではないかと、私どもも含めてそういった部分をマッチさせるようなアナウンス発信ができればいいということは感じます。

○会長

ありがとうございます。

Webでご出席の委員、何かご意見ございますでしょうか。

○委員

特にありません。

○会長

他にこの施策名(1)について何かございますか

○委員

もう1点お聞きしたいのは、企業立地の関係が、これはKPIの件数ということでもう決まっていますので、それについてどうこうはありませんが、ただどうしても気になるのは、企業立地や誘致となると、例えば投資額が大手さんでしたら一社で、何十億がぼんと投資がされていたり或いは中小企業ですと、むしろこれは中小企業対策として設備投資とか移転等の支援が中心になってきます。

大手でしたら雇用に繋がってきますので、本来は件数だけじゃなしに、そこへの企業立地や設備投資にかかる投資額もセットで考えていかないと正確な判定や効果測定ができにくいと思います。

○会長

ありがとうございました。

その投資額はまだ今のところわからないということですか。

○雇用創出部会長

設備投資額やこの助成制度、要するに、投下資本によって助成額も変わってきますので、その部分での企業への優遇された支援策がございますので、その部分で固定資産評価額並びに企業からいただいている額というのを出すことも不可能ではありません。ただKPI指標の方に反映できるかという部分でございますが、それは事務局と相談させてもらって検討していきたいと考えております。

○会長

KPI はこれで決まっているのでいいのですが、このバックにどういう実態があるのかということもまた、数字で押さえて頂けたらありがたいかなと思います。

雇用人数が増えるのか或いは設備投資で税金がさらに入ってくるかもしれないですし、フィードバックはどのようなふうに思っているのかがわかれば、かなり有効性がわかってくるかなというご意見と思います。

○会長

それでは施策名(1)につきましてはこれくらいにさせていただきたいと思います。続きまして施策名(2)でございます。

「起業や新分野への進出に対する支援による新たな雇用の創出」ということで、これは達成となっておりますが、これにつきまして何かご意見ございましたら、お伺いしたいと思います。

(意見なし)

○会長

特にご意見ございませんか。

これも継続してぜひ取り組んでいただきたいと思います。よろしく申し上げます。

それでは「(3) 地場産業の人材確保・育成および競争力強化」。この施策名については未達でございますが、KPIにして1人少なかったということでございますが、95.2%で未達という判定でございますけども、これについて意見等がありますか。

私からお尋ねしますが、どんな方が応募にされているのか、若手の方なのか教えていただければと思います。

○事務局

担当課と連絡が上手くつながらないため、後程連絡が取れ次第回答します。

○会長

では、連絡が取れ次第申し上げます。(3)につきましては、他にご意見ございますか

(意見なし)

○会長

続きまして(4)ですね。

「6次産業化や農商工連携の推進による農林水産業の競争力強化」ということで、これは

K P I 名としては2つございます。

これにつきましては両方達成という評価ですが、それにつきましてはいかがでしょうか。

(意見なし)

○会長

特にないようでしたらこの課題解決に向けて今後実施すべき取り組みをしっかりと継続して実行実施していただくということにさせていただきます。

それでは引き続きまして(5)でございます。

「人材不足の職場における人材の確保・定着への支援」ということでございます。これは、どのように職場説明会を開催するか検討する必要があるということですが、職場説明会がコロナ禍のために全然実施できなかったということで、評価 0%ということでございます。

これは致し方ないのかその辺も皆様のご意見よろしくお願ひしたいと思いますが、いかがでしょうか。

なかなか昨年度の春から緊急事態宣言が発出されて、コロナについてどのように安全策を取ればいいのかということも、手探り状態のようなことであったと思います。その中で、どうしていくかということでもあります。

この状況で実際できたかと言われるとなかなか厳しいところもあったかなとは思いますが、皆さんご意見いかがでしょうか。

○委員

コロナ禍ということはよくわかるのですが、ただやはり社会的に特に弱い立場の人の就職ということは非常に生活の部分で重要な点ですので、公共の使命として、コロナで開催できないから 0 だったということでもいいのかどうかということからは、私自身、感じるころではあります。何か手法なり方法なり、こまめなやり方とか、難しいとは思いますが、やはり少しその辺が欲しかったという気はします。

○会長

ありがとうございます。

何らかの方法を考えてやれなかったかなというところのご意見でございます。

それを SNS 等のデジタルツールを活用して事前に情報発信をというところで今後実施すべき課題というふうに認識させて頂いているところです。

ぜひこの辺を充実させて、どうしたらうまく繋がっていけるのかということを考えていただければと思います。他に何かございますか。

○委員

この KPI でメインになってきているのが、施設型への就職者という人材の確保という部分ですが、在宅介護が今後どんどん主流になり、多方面でも在宅介護というので重きを変えています。

在宅介護になりますと、やはり日頃の介護というものに対して、実は私どもは 6 年ほどずっと在宅介護で看取りまで行いましたが、現実的に大変皆さんのお力で介護して頂き、仕事できていた状況です。やはり在宅における介護職員、そういうところにも当然入っていると思いますが、今後やっぱりそういう人材、中小会社ですら福祉施設というような形でやっているケアサービス、いろいろなところのデイサービスありますけど、そういうところに勤められるような形の人材が増えるような取り組みを、ただ大きな施設だと福利厚生含めていろんな部分で、スタッフも施設も揃っている中での、人材の確保も大事だと思いますが、もう一つはやっぱり訪問介護という部分について、人材を同時並行で増えていくような体制づくりというものも見据えていかないと駄目だと思います。そうすると、トータルで就職・求人にも及ぶ、介護される方の人数が増えてくると思います。

○会長

貴重なご意見ありがとうございます。

それも含めて、またご検討いただければと思いますが、何かご意見、ご説明ございますか。

○会長

(5)のところ途中ですが、うまく繋がらないので一旦暫時休憩にさせていただきます。そしてその間、音声がかかるかどうか確認いただいて、それで再開したいと思いますが、皆さんそれでいいですか。

それでは暫時休憩させていただきます。その間に音声がかかるかどうかチェックよろしくをお願いします。

○事務局

こちらの声はオンラインに聞こえていますが、向こうからの回答がどうしても届かない状況です、大変申し訳ありません。

一旦進めさせていただいて、ご質問等いただきましたら、ここにいるスタッフで答えられる範囲で答えさせていただきます。

それが無理な場合は、オンラインの説明員も聞こえていますので、後程その回答をまとめて皆様方の方にお送りさせていただくという形をとらせていただきたいと思いますので、進行をよろしくお願ひしたいと思います。

○会長

ありがとうございます。休憩しておりました間、なかなか音声が市役所の方から届かないということで、今ご説明いただいたような対応で進めたいと思いますが、よろしゅうございますか。

○雇用創出部会長

先ほどの会長にお尋ねいただいた仏壇の新規就労の件を確認しましたら、今対象でなられた方、40歳以下の男性の方ということで居住地は彦根市の方ということでございます。

○会長

それなりのキャリアをお持ちの方が、また転職的にやって取り組んでおられるという理解でいいでしょうかね。

○雇用創出部会長

はい。これからキャリアを積まれるというのが正しいかわかりませんが、40歳以下の方、比較的若い一部経験がある方ということで聞いております。

○会長

ここからの進め方として、質問が出て、この会場で答えられない場合は後程、市役所の方から情報いただいて答えていただくことにさせていただきたいと思っております。

それでは、「(5)人材不足の職場における人材の確保定着への支援」ということで、「福祉の職場説明会参加者のうち就職に結びついた人数」、もう一つは、「ひとり親家庭が就職に有利な資格等を取得する際に係る費用助成対象者数」です。これは達成ですが、この辺については、ご意見ございますか。

(意見なし)

○会長

よろしいでしょうか。

特にご意見ないようですので、これにつきましても継続して事業を進めていただければということでございます。

それでは(6)に参りたいと思っております。

「観光・文化・スポーツの振興による地域活性化策の強化」ということで、これにつきましては、KPI名が5つございます。

どれについても結構ですので、ご意見、ご質問あればお受けしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

ほとんど未達ということでございますが、いかがでしょうか。

○委員

歴史まちづくりの取り組み件数についてお伺いしたいのですが、25件ということでほぼいっているのですが、課題の中で、歴史まちづくりに関連する事業の推進を図ることによって、さらに目標を達成していくということの歴史まちづくりに関連する事業とは例えばどういったものを指すのか、教えていただけますか。

○雇用創出部会長

彦根市歴史的風致維持向上計画に記載している事業を挙げ、その累計を KPI としています。具体例については後程文書により回答いたします。

○会長

私から一つ質問ですが、コロナ禍が来て急に観光が落ち込んでいますが、コロナの回復を待っているといつになるかわからないということを含めて考えると、果たして来てもらうことだけでいいのかなという気もします。

例えば情報発信して、本来インターネットで見えていただくか何かしながら、お金出してもらったらこんないいもの送ってあげるよとか、それは勝手な思いつきですけども、こっちから情報発信をして来てもらうに彦根を味わってもらうとか、そういう取り組みも考えていかないと、コロナの収束を待っていたらいつのことかわからないからという気がします。何かこの対策等、考えられることもあるかと思いますが、その辺は何かお考えがあるのでしょうか。

○雇用創出部会長

詳しいことは担当課の方からご説明させていただきますが、SNS に情報発信という部分は大変重要だと考えておりますので、今いかに発信をしていくのかということと、実際の話はコロナの収束状況を見ながら、観光客を誘客するような SNS を活用し、様々な媒体使った情報発信というのを考えていかなければならないという意識がございますので、それは観光協会なり近江鉄道なり一般の関係の団体も含めて検討していかなければならない課題だと考えております。実際に担当課の方でもしていると思いますので、それはまた文書の方で回答させていただきます。

○会長

他にございますか。

基本目標の 1 については、これぐらいにさせていただきたいと思いますがいいでしょうか。

それでは、基本目標の2の方に移ります。

時代を担う子どもたちを安心して産み育てることができるまちづくりということにつきまして、市の方からご説明をお願いしたいと思います。

○結婚・妊娠・出産・子育て部会長

基本目標2「次代を担う子どもたちを安心して産み、育てることのできるまちづくり」の、令和2年度の評価について、ご説明をさせていただきます。

基本目標2では、結婚から妊娠、出産、子育てまでの各ライフステージに応じた切れ目のない支援を行い、経済的、精神的、身体的な負担や不安をできる限り軽減するとともに、仕事と子育てが両立できる子育てしやすいまちづくりを進めることにより、人口構造を安定させ、人口減少に歯止めをかける土台を築くことや、ふるさと彦根に愛着や誇りを持つ子どもたちの健やかな育成を図ることを目的として、4つの施策を実施することとし、10のKPI指標を設定しております。

一つ目の施策につきましては、結婚から子育てまでの切れ目のない支援でございます。KPI名「年間出生数」につきましては、目標値990人に対して795人と、達成率が80.3%となっております。令和2年度に関しましては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、各種イベントが中止になるなどの影響が出ております。全国的にも、出生数が減っている減傾向にあり、当市においても減少しておるところでございます。今後につきましては、様々な分野で連携を強化することが求められています。

課題解決に向け、今後実施すべき取り組みといたしましては、生産年齢人口の増加のために移住検討者に対してきめ細やかな支援を行うとともに、結婚を望む独身男女に対しての支援を継続して行って参ります。また、結婚、妊娠、出産、子育ての各ステージにおける関係部局とのきめ細やかな連携の強化も図って参ります。

2ページをお願いいたします。

KPI名「年少人口割合」につきましては、目標を達成しておりますが、出生数が減少しておりますので、今後、当該割合についても減少することが懸念されます。今後につきましては、今ほど申し上げました、年間出生数と同様の取り組みを実施して参ります。

次に、KPI名「保育所待機児童数」につきましては、年度当初は、前年度10月に始まりました、3歳児以上児への保育料無償化の影響から3歳児の申し込みが増え待機児童が増加いたしました。

本市では就学前児童数が今後も減少することが想定されている中で、就学前児童数全体に占める保育ニーズの割合が増えており、保育ニーズはしばらく横ばいもしくは微減が続くと考えております。そのため、20年、30年後を見据えた施設整備と保育士の離職理由に上がる問題をひとつでも多く解決し、保育人材不足を解消することで、待機児童数の解消を図って参ります。

次に、K P I 名「彦根市子ども・若者支援センターの相談者数」につきましては、実人数増加のため、センターの広報、周知や他機関との連携の強化を図って参ります。

次に、K P I 名「地域での子どもの居場所の整備」につきましては、目標を達成できましたが、現在交付している補助金が3年限度となっておりますため、その後につきましても、自立した運営ができる体制作りを支援して参りたいと考えております。

2つ目の施策は、「小・中学校教育の充実」でございます。

K P I 名「市内児童・生徒の全国学力学習状況調査における正答率の全国平均との差」につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大影響を受け全国学力学習状況調査が未実施であったため、評価を実施しておりません。

今後も各校の取り組みを充実させることにより、目標実現に向けて確かな学力の育成を図って参ります。

次に、K P I 名「市内児童・生徒学校満足度」につきましては、目標値の90%に近い数値にはなっておりますが、目標値は達成しませんでした。

今後も学校生活が楽しいと感じられるよう学びの環境づくりや互いに認め合える集団づくりの推進を図って参ります。

3つ目の施策は、「ふるさとを誇りに思い、将来地域社会に貢献する子どもの育成」でございます。

K P I 名「地域行事に参加している児童・生徒の割合」につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、地域行事が中止縮小となったため、数値が低くなっております。

今後は、感染症対策を講じた上で地域行事に積極的に参加していけるように働きかけて参ります。

4つ目の施策は、「仕事と生活の調和の推進」でございます。

K P I 名「ワーク・ライフ・バランス取組企業数」につきましては、目標件数63件に対して67件と達成となっております。

ワーク・ライフ・バランス推進に関連する文書の送付や、男女共同参画地域推進員が電話啓発により県のワーク・ライフ・バランス推進企業制度について周知啓発を行い、一定の効果はあったものと考えられます。

ワーク・ライフ・バランスの推進に対する市内事業所の認識、取組には、関心のある事業所とそうでない事業所の差が大きいため、今後につきましては、滋賀県内の登録制度の周知のため、市の広報やホームページ掲載の検討や、ハローワーク彦根や彦根商工会議などの関係機関と連携し、登録制度の普及を強化して参ります。

最後に、K P I 名「イクボス宣言企業数」につきましては、目標件数22件に対して、19件と達成率は86.4%となっております。

令和2年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、直接の啓発の機会として予定をしておりました企業訪問が実施できませんでしたが、それに代わり

まして、市内企業 150 社に対して電話での啓発を行いました。

今後につきましては、制度の周知のため、市の広報やホームページの掲載の検討や、ハローワーク彦根や彦根商工会議所などの関係機関と連携し、制度の普及を強化して参ります。説明は以上でございます。

○会長

それでは、評価に移りたいと思いますが、まず、施策名の 1 結婚から子育てまで切れ目のない支援で、K P I 名は 5 つございます。

これにつきまして、皆さんの方からご質問、ご意見をいただきたいと思いますがいかがでしょうか。

○委員

出生数のことが非常に気になりますが、なかなか出生数を増やすのは容易なことではないなというふうに思っております。

現在の合計特殊出生率は 1.34 ぐらいだと思いますが、1.34 という、孫の代でそのままですと半減するような数値ですが、課題の中で、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、各種事業の中止等による影響も考えられるということで、確かにそれもあると思いますが、生産年齢人口の減少といろいろなことを考え合わせると、本当にコロナによるものとそうでないものと、きちんと分析なり精査をした上で、これから先のことを考えていかないと出生数を増やすというのは非常に難しいと思います。

どこの市町も同じような施策やりますので、そのところの課題精査が相当踏み込んで必要ではないかと思っております。

○会長

ありがとうございます。

その辺は何かお考えでしょうか。

○結婚・妊娠・出産・子育て部会長

ご指摘はごもっともだと思います。年間出生数につきましては、どこか一つの部署の取り組みだけで増加をするものではないと考えておりますので、先ほども申し上げましたように関係部局の連絡を密にし、市を挙げて、出生数が増加するような取り組みを進めて参りたいと考えております。

○会長

ありがとうございます。その辺、非常に重要なポイントなので、是非よろしく願いしたいと思います。コロナの影響だけで全部が落ちたではないというところもよくご理解いた

だいて、基本的なところ何がポイントかというところも是非お願いしたいと思います。

他にございますか。K P I 名 5 つございますが、保育所待機児童数は未達成ですけど、何かございますか。

○委員

保育所の待機児童数の中で、課題といたしまして、保育士の離職理由に上がる問題が一つでも解決するということで、課題を挙げていただいておりますが、実際に離職率が高かったりですとか離職されたときの理由ですとか、そういったところはどこかで取りまとめたり確認されているのでしょうか。

○結婚・妊娠・出産・子育て部会長

アンケートについては滋賀県の方で実施をされており、そのデータも市の方に降りてきていますので、原因については把握をさせていただいております。幾つか申し上げますと、人間関係で働きづらいとか、一般的な企業にもあるかと思いますが休暇等が取得しにくいというように、原因についてはアンケートによって把握をさせていただいておりますので、その辺を一つ一つ潰していくという施策を今進めさせていただいているところでございます。

○会長

もう少しさらに取組を進めていただければと思います。他にございますか。

特にないようでしたら、次の施策名「(2)小中学校教育の充実」についてはいかがでしょうか。K P I 名 2 つございますが、一つ目の市内児童生徒の全国学習状況調査における正答率の全国との差、これは実施されなかったということは評価しようがないですね。

もう一つの市内児童生徒の学校満足度については、かなり微妙な数字でございますけど、達成というのは達成ですが、さらにこれを超えてもっと高い数値を期待したいなとは思いますが、この辺は何かございますか。

○委員

タイトルだけでこの K P I に直接関係ない質問ですが、教えていただきたいのですが、小・中学校教育の充実ということで、今この日本全国で結構問題になっていますのが、過去に子どもに悪いことをした先生の問題です。私は犯罪の中で一番たちの悪い犯罪は子どもに悪いことをする犯罪だと思います。

その中で、今この充実した小学校中学校の教育ということの中で彦根市としてはそういう歯止めもしくはチェックとしては何かありますでしょうか。

○結婚・妊娠・出産・子育て部会長

申し訳ございません。教育委員会の部局になりまして、私存じ上げませんので、後程のお答えとさせていただきたいと思います。

○委員

KPI に直接関係がないことですので、そもそもの部分でどうだったのかなと疑問に思っただけですので、ちょっと場違いな質問でしたら申し訳ありません。

○会長

可能な範囲でまた、情報フィードバック頂ければと思います。よろしくお願ひします。非常にこの先生方の問題も重要なポイントかなと思います。

○委員

市内児童生徒の学校満足度ですけれども 89.2%非常に高いと思いますが、どこかで当初説明もあったのかもしれませんが、内容、評価指標といいますか視点が、学校に対する子どもの満足度が非常に高いので、実態とどうなるかというところもありますので、その辺主立ったこういった内容ということで、指標を聞かせていただきたいと思います。

○結婚・妊娠・出産・子育て部会長

こちらについては、アンケートの中に、これに関する項目があつて、こういう数字が出ているというのは存じていますが、詳細なアンケート項目については存じ上げておりませんので申し訳ないですけど、後程回答させていただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

○会長

その辺も、どういう項目について子どもたちが評価したのかということも、またわかる形でよろしくお願ひしたいと思います。

それでは、次に移りまして「(3)ふるさとを誇りに思い、将来地域社会に貢献する子供の育成」、これについてはいかがでしょうか。

地域行事が中止縮小となったため数値が低くなってしまいましたということですが、なかなか参加しにくい状況ではございますが、これも今後感染対策を十分していただいて地域行事に積極的に参加していけるよう働きかけていただくということでもよろしいですか。

(意見なし)

○会長

これは継続して頂ければと思います。

次に参りまして、「(4)仕事と生活の調和ワーク・ライフ・バランスの推進」につきまして、これは2つ、KPI名がございますが、これにつきましてはいかがでしょうか。

一つは達成、一つは、86.4%ということございますが、いかがでしょうか。

特にないでしょうか。

私の方からお聞きしたいのですが、市内企業さんに電話で啓発されてこの数字が出てきたということございますが、イクボス宣言の取り組みで企業さんに電話して簡単に引き受けてもらえるのか、かなりこれ大変かなと思いますが、その辺の苦勞はいかがでしたでしょうか。

○企画課長

なかなか電話での啓発をさせていただいても聞いていただいてもなかなか取組に進むというのは難しいということがあるので、今年度からは、企業に直接出向いて直接お話させていただいて、そういう形で啓発を進めているという状況でございます。

○会長

去年はコロナのこともあって、なかなか来てもらったら困るという雰囲気もあったとは思いますが、それが少し安全対策をどうしたらいいかわかってきて出向けるという状況ができたので、今年度は行っていただいているんですね。ありがとうございます。

他に何かございますか。

○委員

このことについては私たちの運動の中の一つとして、ワーク・ライフ・バランスの充実ということで、街頭で年間通じて啓発活動をやっています。働いている方々に対してもう少し自覚を持っていただくという意味で、ティッシュの配布なり、コロナの関係で少ないですけども、街頭に出てアピール活動もさせていただきました。少しずつですが働く側の者も一定の理解をしながら、企業と一緒に取組んでいかないと、この数字というのも上がってこないと思いますし、改善もされないと考えています。

できるだけ企業を抜きにするのではなくて、企業や全体的に啓発活動というものを、行政としても活発に取り組んでいただきたいと思っています。

○会長

貴重なご意見ありがとうございます。

Webで参加の委員、基本目標2の全体について何かご意見あったらよろしくお願ひしたいと思いますがいかがでしょうか。

○委員

特にありません。

○会長

わかりました。

他に会場の委員の方、ご意見ございますか。

(意見なし)

○会長

それでは次の基本目標3に移りたいと思います。

「若者がチャレンジでき、新しい人の流れが生まれるまちづくり」というこの基本目標について、市の方からご説明をお願いいたします。

○若者定着・移住部会長

基本目標3、「若者がチャレンジでき、新しい人の流れが生まれるまちづくり」ということで、若者定着・移住部会でございます。

当部会におきましては、本市には若者である学生が多数在学しておりますので、学生の人材育成やスキルアップを支援し、学生がチャレンジできる環境整備を支援するなど、若者がチャレンジできるまちづくりを進めるとともに、本市の魅力を発信していくシティプロモーションを推進いたしまして、移住を促進する仕組みを構築するなど、移住促進策を推進することで、新しい人の流れが生まれるまちづくりを進めているところでございます。

5つの施策につきましてそれと9つのKPI目標に係る評価につきましてご説明を具体的にさせていただきます。

施策名(1)「市内大学をはじめとした高等教育機関等との連携強化」について、まず、KPI名「市内3大学新卒者の市内就職者数」につきましては、令和2年度の目標値40人に対して37人と達成率は92.5%となっています。

課題としては、学生が県内および市内の企業を知らない事によって就職に結びついていないという課題もあると思われまます。誠に申し訳ございません。

ここで資料の修正をお願いしたいのですが、課題のところで滋賀就職フェア in 彦根について、「昨年度新型コロナウイルス感染症の影響からオンライン開催」となっていますが、実際は実地での実施をしております。直近開催が昨年度で新型コロナウイルスの影響で中止となっており、一昨年は参加者58人で、令和2年度は41人と減少しております。

これにつきましては今後とも、湖東圏域の4町とも連携いたしまして、もっと地元企業の周知を図っていきたいと考えておりますし、家賃とか土地の安価な点、或いは都市部へのアクセスのよさなど、本市の暮らしやすさについてももっとPRを強化していきたいと思っ

ております。

これについてはコロナ禍であるか否かにかかわらず、しっかりとPRを行っていきたいと考えているところでございます。

今後については、イベント周知を行っていく等、地元企業の周知を図り、就職のきっかけを作っていきます。また、働き方や価値観の変化からも彦根という地域をPRしていきたいと思います。

次に、KPI名「大学等高等教育機関との連携事業数」につきましては、令和2年度の目標値66件に対して27件となっており、達成率は40.9%となっています。これに関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により事業自体が中止になっていることや、大学についても休業等を余儀なくされた事情があり、例年より大幅に減少しているところでございます。今後については、今までの連携を取りやめることなく、事業のやり方等を検討するとともに、コロナ禍、アフターコロナを見据えて連携を続けていきたいです。

施策名(2)「データ利活用の推進」については、令和2年度から新たに施策に追加したのですが、まず、KPI名「オープンデータ種類数」につきましては、令和2年度の目標値40件に対して実績が32件となり、目標に届きませんでした。

今後はデータを保有する担当課の意識高揚を図ることが課題でございますので、関係各課と連携しながら、取り組みを進めて参りたいと考えております。

次に、KPI名「ポータルサイトアクセス数」につきましては、令和2年度の目標値1,400件に対して実績が50件となり、結果が目標値を大きく下回りましたが、目標値は年間アクセス数となっており、ポータルサイトの開始が令和3年3月と年度末になったためです。今後は年間を通して数値の推移を注視していくとともに、種類別閲覧数を分析し、閲覧数の多い事業に関連した資料のオープンデータ化を進めていき、アクセス数の増加を図ってまいります。

施策名(3)「シティプロモーションの推進」については、令和2年度から新たに施策に追加したものです。

まず、KPI名「NPSの値(推奨意欲)」につきましてはですが、NPS(Net Promoter Score/ネット・プロモーター・スコア)とは、顧客ロイヤルティを知るための指標で、顧客アンケートで「あなたはこの商品・サービスをどの程度、友人や同僚に勧めますか?」という質問に0~10の11段階で答えてもらった結果を数値化したものです。計算方法は、回答された数値によって、顧客を3グループに分け、最下位の批判的なグループの比率を、最上位の推奨するグループの比率から引いた数値となります。

このKPI名「NPSの値(推奨意欲)」については推奨意欲に係る市民アンケート調査の結果となりますが、令和2年度の目標値0.0に対して実績が-0.9となり、目標は達成できませんでした。今後は「市民ライター講座」などの実施により、積極的な推奨を行う市民(推奨意欲が高い層)の増加に繋げていけるよう取り組みます。

次に、KPI名「NPSの値(参画意欲)」につきましては、参画意欲に係る市民アンケート

ト調査の結果となりますが、令和2年度の目標値-15.0に対して実績が-8.7となり、目標を達成することができました。引き続き、クラウドファンディング活用支援など、市民が協力し合って課題解決に取り組める施策に取り組みます。

次に、KPI名「NPSの値(感謝意欲)」につきましては、感謝意欲に係る市民アンケート調査の結果となりますが、令和2年度の目標値58.0に対して実績が54.8となり、目標は達成できませんでした。感謝意欲の低い層は減少していますが、高い層が伸び悩んでいることから、今後は市民の共感を得られる情報発信に努めていきます。

施策名(4)「関係人口増加策の推進」については、令和2年度から新たに施策に追加したのですが、KPI名「ふるさと納税による寄附者」につきましては、令和2年度の目標値6,000人に対し結果5,808人で、目標をわずかに達成できませんでした。今後は、寄附者を増やすために、返礼品の充実と積極的なPRに取り組みます。

施策名(5)「移住推進策の推進」については、まず、KPI名「社会増減数」については、令和2年度は176人の減少となっており、目標からは300人以上離れている状況となっております。転入、転出については様々な要因が考えられますが、各事業を実施していくことで住みたくなる彦根を作り、アフターコロナに向けて彦根を売り込み、移住の最後のきっかけとして移住関係の事業を実施していきたいと考えております。

次に、KPI名「移住施策による市外からの移住者数」につきましては、令和2年度の目標値36人に対して結果62人と目標達成となっております。新型コロナウイルス感染症の拡大防止等の関係から、減少が懸念されましたが、各種事業を利用する方は一定数おられ、目標値まで行くことができます。今後も移住に関しての様々イベントを開催するとともに、移住コンシェルジュによる移住希望者一人ひとりに合ったきめ細やかな支援を行っていきます。

○会長

それでは、評価に移りたいと思います。

まず一つ目、施策名、市内大学をはじめとした高等教育機関との連携強化、ということですが、これについては、KPI名が2つございます。

これについて、皆さんからのご意見、ご質問をお聞きしたいと思いますがいかがでしょうか。

○委員

コロナのことでまさに具体的に学生がどこか行ってというのは難しいと思いますが、大学の方も授業等もオンラインになってきて例えば、オンラインのアルバイトをしている学生も増えているので、少しそういう工夫もしていただければ、これからオンラインのイベントを継続していく件も増えていくのではないかなと思いました。

ついでに、オープンデータについては、ぜひ庁内でも進めていただければと思います。

○会長

ありがとうございました。他に何かございますか。

私も大学関係で連携事業等がどんどん進んでいくと、学生が彦根を理解してくれて、またいろいろな意味で人との繋がりが増えてきてここに定着しようという学生も増えてくると思いますのでぜひ連携を継続してやっていくことが重要かなと思います。

それでは、次に移っていいでしょうか。

(2)「データ利活用の推進」ということでございますが、ここはいかがでしょうか。

ポータルサイトのアクセス数は令和3年の3月17日が開始ということで半月の実績が50件ですので、1年とすると1200件くらいと期待できます。それでも少し1400件には届かないからもう少し頑張らないといけない、或いは、少し周知していかないといけないかなと思います。

他に何かございますでしょうか。

「オープンデータ種類数」についてもどうでしょうか。

○委員

「ポータルサイトアクセス数」ですが、確かに目標値1400件に対して50件、かなり少ないということはもう最終3月が開始ということですが、これはこの時期まで開始ができなかった何か理由がございましたでしょうか。それか年度始めから開始する予定がこの時期になってしまったのか、その辺のいきさつはいかがでしょうか。

○若者定着・移住部会長

大変開始時期が遅れてしまいまして、指標もこんなかけ離れた数字になってしまいました。特に遅れた理由というのはありませんが、やはり開始時期が他の事務等の関係もあって遅れてしまったということでございます。

本来目標に掲げておきながらこのような遅い開始になってしまったということにつきましては、大変申し訳なく思っております。

今後はこの目標を達成できるように、少しでもこのポータルサイトのアクセス数が増えるように、資料のオープンデータ化を進めていきたいと考えております。

よろしく申し上げます。

○会長

ありがとうございました。

是非達成に向けて取り組んでいただければと思いますが、他にございますか。なければ、次の(3)「シティプロモーションの推進」につきまして、これはKPIが3つございますが、

この辺はいかがでしょうか。

N P Sばかりで、推奨意欲・参画意欲を、そして感謝意欲という3つがございますが、これはいかがでしょうか。

「市民ライター講座」っていうのはちょっと具体的に何か市民の方が執筆していただくという意味ですが、これちょっと教えていただけますか。

○企画振興部次長

「市民ライター講座」ですけれども、市民の方がSNSで発信していただく、そういうものについて、記事等を作っていただいて、積極的にこの彦根市の良さを発信してもらうことについて、彦根の良さや発信の仕方等について講座を通じて伝えさせて頂いている状況でございます。

○会長

ありがとうございました。

市民の方に参加いただいて、彦根の魅力をどう発信していくかをいろいろと議論して取り組んでいただくということですね。是非そういうものは継続していただければと思います。感謝意欲で高い層が伸び悩んでいるのは何か原因があるのですか。

○企画振興部次長

特に原因分析はありませんが、やはり評価がよほど飛び抜けて出ないと高い評価をつけてもらえないということで、当然ながらそういう良い評価を伸ばして行って低い評価を減らしていくということで数値は上がっていくのですが、分析の方は申し訳ありませんができておりません。

○会長

作戦として、トップをずっと上げるのと、裾野をさらに広げるとかいろいろ作戦があるかと思いますがその辺もよく考えていただいて、裾野が広がると山が高くなるような気もしますので是非考えながら取り組んでいただければと思います。

それでは次に進ませていただきます。

(4)「関係人口増加策の推進」でございますが、ふるさと納税等でございますが、いかがでしょうか。返礼品の充実は、KPIが6000人に対して5808人で結構、何か目標に近い数字でございますが、さらに返礼品の充実でいけるかと思えます。特にご意見ございませんか。

(意見なし)

○会長

では、これで進めていただくことにしたいと思います。

次に(5)「移住推進策の推進」につきましては、いかがでしょうか。

「社会増減数」と「移住施策による市外からの移住者数」、この2つがKPI名でございますが、この辺はいかがでしょうか。

○委員

移住施策による市外からの移住者数についてですが、累計とありますので一つは令和2年度で何件あったのかということと、累計でもいいですが移住された方の全体構成、例えばタイアされた方が移住されたのか、他のこういう層が移住された等の内訳を教えてくださいたいと思います。

○企画課

企画課です。令和2年度だけの数字ですと36人となっております。

これに関しては各移住施策の補助金等では年齢等の制限がある補助金もありますので大体若い層の方達、45歳以下であるとか年齢制限があります、その辺の年代の方たちが施策を使って来られているという形をご理解いただければと思います。

○会長

ありがとうございます。

私も興味があって聞きたいのですが、移住された方に一人ずつヒアリングをして、何故移住したかとか理由はお聞きされているのでしょうか。

○企画課

企画課の方で移住コンシェルジュ等もいますので、最初の相談等があった段階でどういふことで彦根に興味を持たれたのか等のヒアリング等もさせてもらっています。

その中でやはり琵琶湖があるからとか古い町並みが好きだからであるとか、都会から来られる方に関してはのんびりとした生活を送りたいからであるとか、子どもの環境を考えてというようなことで来られている方等がおられるという状況です。

○会長

ありがとうございました。

その辺はやっぱり今度、さらに人に来てもらい住んでもらうためのキーワードになってくる気がするので、それもよく分析していただいて、彦根の魅力発信につなげていただければと思います。

それでは、基本目標の3については、以上とさせていただきたいと思います。

続きまして、基本目標の4に移りたいと思います。

「時代に合った地域の中で、安心な暮らしを守るまちづくり」でございます。
これにつきまして、市の方からご説明お願いいたします。

○安全なまち部会長

都市建設部の藤原と申します。

それでは、安全なまち部会での内部評価結果についてご報告します。

当部会における基本目標は「時代に合った地域の中で、安心な暮らしを守るまちづくり」であり、数値目標の指標は人口としております。

令和2年度における指標の達成率は99.3%となっております。

自然増減、社会増減の分析は共に減少となっており、人口減少を抑制するため、出生数増加と転入増加にする取組が求められており、引き続き総合的に人口減少対策を進め人口減少を抑制していきたいと考えております。

次に、施策名(1)「彦根らしい多極的なコンパクトシティの形成」でございます。

まず、KPI「居住誘導区域の人口密度」でございますが、目標値は達成しておりますが、現時点では、人口誘導区域内における人口減少に転じてないという事によるもので今後、減少傾向に転じていくことは予想されることです。

特に旧城下町においては人口減少傾向で課題拡大が続いております。

このためさらなる誘導施策が必要であり、特に空き家の利活用など、コンパクトシティと整合した空き家対策を検討して参りたいと考えております。

次にKPI「路線バス年間利用者数」と「予約型乗合タクシー乗合率」でございますが、これはいずれも、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりまして、目標値に達していないという状況になっております。

感染予防対策を徹底しつつ、湖東地域公共交網形成計画に基づいた、各施策を行い、引き続き公共交通の機能強化を図って参りたいと考えております。

続きまして(2)「空き家等住まい対策の推進」でございます。

KPIは「管理不全な空家等及び特定空家等の是正率」でございますが、これにつきましては目標を大幅に上回っております。

しかしながら、空き家発生率は増加傾向にあると考えられますので、さらなる対策の強化、また変動する空き家の実態を把握し、空き家の利活用に寄与します空き家バンク等の運営など、各施策に引き続き取り組んで参ります。

次に、施策名(3)「公共施設マネジメントの確立による持続可能な施設整備・運営管理」でございます。

KPI「公共建築物の総延床面積の削減率」でございます。

目標値は達成をしておりますが、施設の廃止・統廃合につきましては、利用者の理解が必要でありますため、必要性の検証による説明責任が求められております。

令和2年度までに、個別の施設管理計画を策定しましたところですが、令和3年度にお

きましては、国の方針を踏まえまして、彦根市公共施設総合管理計画の改訂の必要がありますことから、各個別施設計画の情報の整理を行った上で、所要の改訂を行って参ります。

次に、施策名(4)「安全・安心な暮らしの確保」でございます。

まず、KPI「自主防災組織率」でございますが、目標を達成しております。

高齢化によりなり手が少なく設置困難な自治会が多い中、防災講習や説明会等による動画配信などにより設置促進を図っており、令和2年度におきましては、新たに2自治会が、自主防災組織を設置されております。

今後も、広報誌や講習等により、意識の醸成や共助の重要性を説明して参ります。

また、自主防災組織未設置の自治会、特に小規模な自治会には複数の自治会等の合同での設置など啓発を行いますとともに、自主防災組織に必要な規約作成の支援、フォローや補助制度の周知も行って参りたいと考えております。

次に、KPI「彦根市内犯罪率」でございますが、これにつきましても目標を達成しております。

今後も、警察等関連機関と連携し、地域の安全活動を推進するとともに、防犯灯、防犯カメラの設置、設置補助や防犯講習会、防犯情報の発信や青色パトロール車によるパトロールなどを実施して参ります。

最後に、施策名(5)「湖東定住自立圏形成協定に基づく取組の推進」でございます。KPI「湖東定住自立圏1市4町の人口」は目標達成率が99.9%とわずかに目標値に届いておりません。

愛荘町・豊郷町・多賀町は横ばいですが、本市と甲良町の人口は、減少しましたことから、圏域全体で減少という結果となっております。

本市では、出生率の減少に加え、新型コロナウイルス感染症が経済におよぼした影響も大きく、製造業が多く立地する本市におきましては、景気後退の影響などから転出者が増加した可能性が考えられるところです。

人口減少に歯止めをかけるべく、引き続き、まち・ひと・しごと総合戦略の各施策を実施するとともに、定住自立圏の事業を推進し、圏域全体の生活機能と魅力向上を図ることで、本市の魅力向上につなげて参りたいと考えております。

以上で、「安全なまち部会」の内部評価報告を終わります。

○会長

それでは評価に移りたいと思います。

まず(1)「彦根らしい多極的なコンパクトシティの形成」でKPI名3つございますがここにつきましてはいかがでしょうか。

いつも問題になる公共交通機関ですけども、バスはありますが利用者数73%というKPI値、どうすれば上がるのか、何かご意見ありますでしょうか。

難しいとは思いますが、増やせばお金がかかるし、減らしたら負のスパイラルに入って不便になって皆乗らなくなります。

高齢化社会を迎えるにおいていつまでも自分で運転できるのか等も含めて考えるとどうしていくのかという問題です。

私はよくバスを利用しますが、路線が違ったら、近くにあってもバス停の名前は違うわけです。それをもう少し整理された方が、バスの本数は少ないけども、経路が違って乗っても同じところに行けると、名称が一緒だったら同じ場所という認識はするので、少し便利さを感じてもらえるのではと思います。

○会長

次は、(2)「空き家等住まい対策の推進」でございますが、これは、いかがでしょう。これは達成しておりますが、ご意見あったらお受けしたいと思います。

この取り組みをさらに進めていただきたいと思います。よろしく申し上げます。

それでは(3)「公共施設マネジメントの確立による持続可能な施設整備・運営管理」でございますが、これも達成をしておりますが、これにつきまして皆様、ご意見ございますか。委員、何かございますか。

○委員

特にありません。

○会長

ありがとうございます。

それでは、「(4)安全・安心な暮らしの確保」ということで、これもKPI名2つございますが、「自主防災組織率」、それと「彦根市内犯罪率」という2つございますが、これは皆さんいかがでしょうか。

私の方から自主防災組織が新たに2つ作られたということで、これもとにかく継続してこの運動やっていくしかないかと思えます。増えてきているというのは非常にいいと思えます。自然災害も大変増えておりますので、この辺しっかり着実に取り組んでいただきたいというのが私の意見です。

犯罪率も少ないということでこれも達成となっております。防犯カメラの設置については、個人情報等も関係するので、しっかりやっていただければと思います。

それでは最後の(5)「湖東定住自立圏形成協定に基づく取り組みの推進」ということで、評価としては99.9%とほぼ100%と考えてもいいのかなと思えますが、この辺について皆さんの方からご意見ございますでしょうか。

○委員

愛荘町、豊郷町、多賀町の人口が横ばいということですが、出生率はどこも下がっていると思う中でこの3町は横ばいである理由はこの3町は製造業等で転出者が少ない理由があるのでしょうか。

何か通勤圏としてはどこも同じようなところなので、製造業と同じように転出される方もおられるのではないかと、その辺に関しては、分析データ等ありますでしょうか。

○企画課

大変申し訳ありません。正直愛荘町と豊郷町と多賀町の人口が横ばいの理由というところは、私もわかりかねるところがあります。

ただ、私個人の感じ方で大変恐縮なのですが、多賀町等は子育て支援が充実しているとも聞きしておりますし、新しい団地も造成されて若い方々の転入等もあるということは伝えて聞いておりますが、やはり若い世代が転入をすることがあって一定人口が保たれているのではないかと考えております。

○会長

それに関連して私も興味があったのですが、トータルとしては99.9%だから、これでいいのかなど、この定住自立圏のトータルでは、人口が変わらずに、ただ単に彦根からそちらに流れているとかいう分析はあるのでしょうか。

彦根が減るとというのが、彦根からこういう定住自圏以外のところに転出されているのか、或いはその他の多賀町に住みかえられているのか、或いは子どもがそちらで家を建てるとかという分析はやっておられるのでしょうか。

○企画課

申し訳ございません。そういった形の分析はできておりません。

転出者の方が4町にどのように転出しているかというデータがございませんので、今現在はわかりかねます。

○会長

ありがとうございます。

それも含めて何かございますか。

○委員

私も以前いろんなところでお話聞いたときに、彦根市にこの4町から来られる方は多賀町の方が一番多く、多賀町の新家や分家の方もしくは少し奥に入っておられる方が今までは彦根の方にたくさん移住されていると聞いていました。

先ほど言われたように、多賀町自体がいろんな子育てや介護も含めて、いろいろ手厚くさ

れていますし、住宅も非常に増えています。

高宮との境や彦根市との境近隣に、非常に進んで開発もされてございますし、また、そういう方が住まれる場合には一定の条件で優遇されていると聞いています。

ですから、当然、多賀町の人が彦根に来るのが減ったから、逆に言えば、彦根が減ったというのは数字的には合っていると思います。

○会長

ありがとうございます。その辺も含めて検討いただければと思います。どこから人を呼び込むかということも非常に重要になってくると思われました。

他にご意見ございますか。

○委員

先日の日経新聞に掲載されていましたが、多様な働き方ができる都市のランキングで、彦根が9位に入っていたようですが、これはいろいろ指標がありまして、例えば中間人口比率の伸び率やいろんな要素があるわけですが、そういったことを考えますと、指標としては人口の比較でいいですが、例えば、データがあると思いますが、どこからどこへ行く人が動いている流入人口と先ほど言いました中間人口の比率も合わせて、やはり質的な面ですが、良い方がより良い施策は組みやすいし、わかりやすいと思っておりますので、指標はこういう形なのですが、ですからいろいろな要素がここには入っているのでその辺も見ていかないとわからないと思っております。

○会長

ご意見ありがとうございます。

この中身をしっかり分析して施策に反映させていくことが重要だと思います。

よろしくお願ひしたいと思います。彦根が住みやすい、或いは多様な働き方ができるか、その辺も含めてですね。9位というのは非常に喜ばしいことであると思います。その辺の魅力をどう発信していくかが非常に重要だと思います。

○会長

それでは基本目標4のところの審議を終えたいと思います。ありがとうございました。

続きまして議題(2)「その他の事務連絡等」でございますが、事務局から何か連絡事項はございますか。

○事務局

本日はありがとうございました。

オンライン等でちょっと不具合等があった中、いろいろ対応いただきましてありがとうございます。

また本日質問いただいた件に関しましては先ほど申し上げた通り、回答をまとめさせていただきます。送付させていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

○会長

本日は長時間にわたりご審議ありがとうございました。これを持ちまして、本日の次第にありました議題はすべて審議を終了いたしました。これにて閉会といたします。どうもありがとうございました。

(終了)